



《将来に向けた取組方針》

当社のグループ成長戦略に掲げる「まちづくり総合エンジニアリング企業」として、「生物多様性活動指針」を具現化する「竹中生物多様性促進プログラム」を推進します。その一環として、自社研修施設を活用した「清和台の森づくり」や研究所での生物多様性保全の研究開発を推進し、広く社会課題解決を実践できるコア人材を育成します。また、生物多様性保全に貢献する建設プロジェクトを増加させるとともに、多目的で統合的な解決策としてのグリーンインフラの技術開発や社内基準整備を行い、その普及に取り組みます。

〈具体的取組み事例〉

竹中技術研究所にグリーンインフラの実験フィールドを整備し、R&Dを推進
千葉県にある研究所の敷地内に2019年に設けられた「調の森 SHI-RA-BE」は、地域に根差した多様な景観の再生手法やグリーンインフラの研究を試みる実験フィールドです。

北総地域に見られる台地や谷津の構成要素である樹林、原っぱ、農地、湿地などの景観を、埋土種子も活用して再生し、希少種の域外保全にも取り組んでいます。また、鳥類や飛翔性の昆虫類のハビタット創出にも取り組んでいます。雨庭では、豪雨時の都市型水害リスク低減効果を評価しています。



平時の雨庭



豪雨時の雨庭

兵庫県の研修施設「竹中研修所」で「清和台の森づくり」を推進

当社従業員が自主的にプログラムに参加することで自然環境に接し、里山保全を体験し学んでいます。

当社のすべての職種・年齢層を対象とした体験型ワークショップを通じ、生物多様性の知識や意識の向上を図っています。

森づくりを通じて、本業への活用や知見を得るとともに、生物多様性に関する研究開発・情報発信を進めています。

自治体、市民、地元企業など地域のステークホルダーとの連携を図り、将来的な協働も視野に活動を広げています。



清和台の森づくり将来イメージ



体験型研修での植物観察